

Sustainable Report No.049

超高齢社会における 人とAIの関わり方

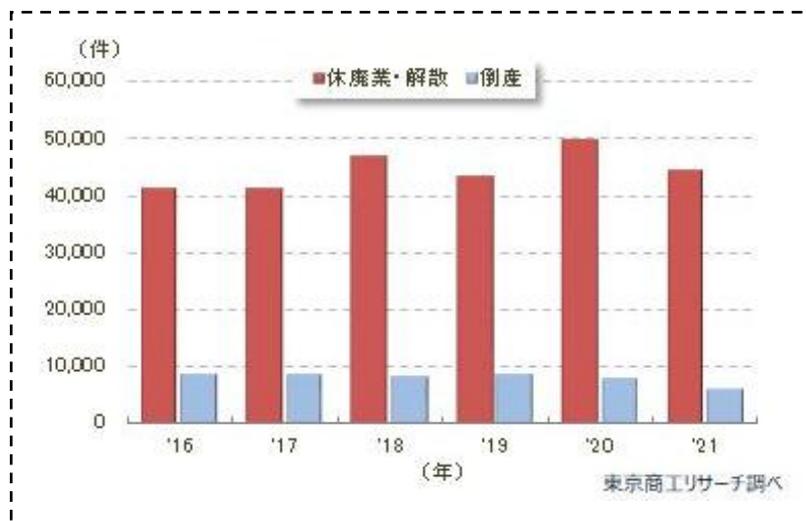


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 人口変化の現状

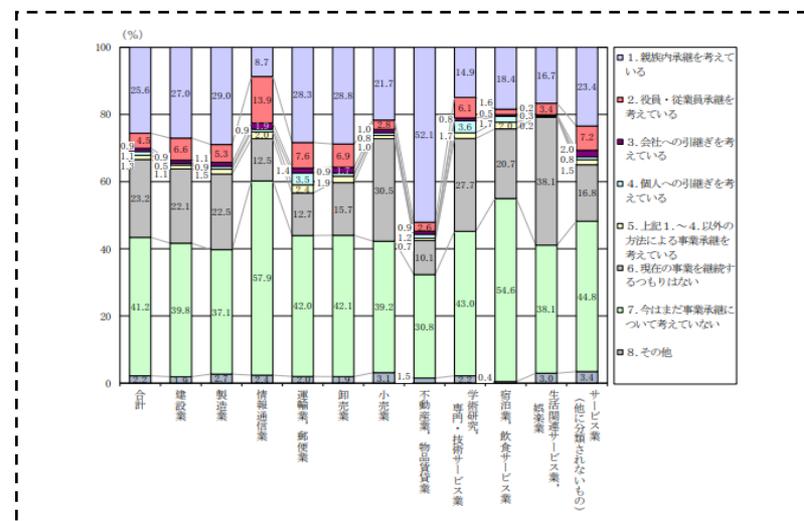
- 日本では2021年に**休廃業・解散した企業は44,377件**あり、統計を開始した2000年以降、2020年（49,698件）、2018年（46,724件）に次ぐ3番目の高水準（東京商工リサーチ調べ）。
- 2007年時点で超高齢社会*に突入し、**2020年に65歳以上の高齢者は全体の28.6%**に増加。全人口や出生率の減少により今後も増加が見込まれる。 * 65歳以上の人口が全人口に対して21%を超えること
- 小規模の個人事業主においては「**事業を継続するつもりはない**」と答える割合が**23.2%**を占め、後継者がいない為に廃業を選択することで失われる技術や文化が増えるのではないかと懸念されている。

■ 休廃業・解散、倒産件数 年次推移



出典：株式会社東京商工リサーチ

■ 中小企業の事業継承の意向別構成比



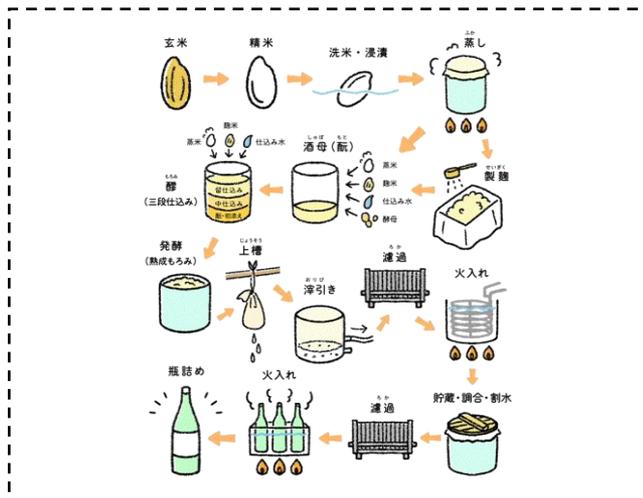
出典：経済産業省

「文化を絶やすな…」とある伝統企業の挑戦

■ 技術継承のために

- 岩手県の酒造である**株式会社南部美人**とITベンチャー**株式会社ima**は、2018年2月よりITやAIの最先端技術を使って日本の伝統技術を社会で活性化させる合同プロジェクトを開始した。
- お米を水に入れて適切なタイミングで引き上げる「浸漬」の作業において、1人前になるまで10年かかるとされる人の目による判断をAIができるように**AI画像処理技術**で水の浸透率を数値化。
- IT技術やAIが発展して他の工程でも活用されることで、人間の役割が危ぶまれてしまうのではないか。

■ 日本酒の製造工程



出典：お酒のソムリエSAKESEN

■ 浸漬の実験風景



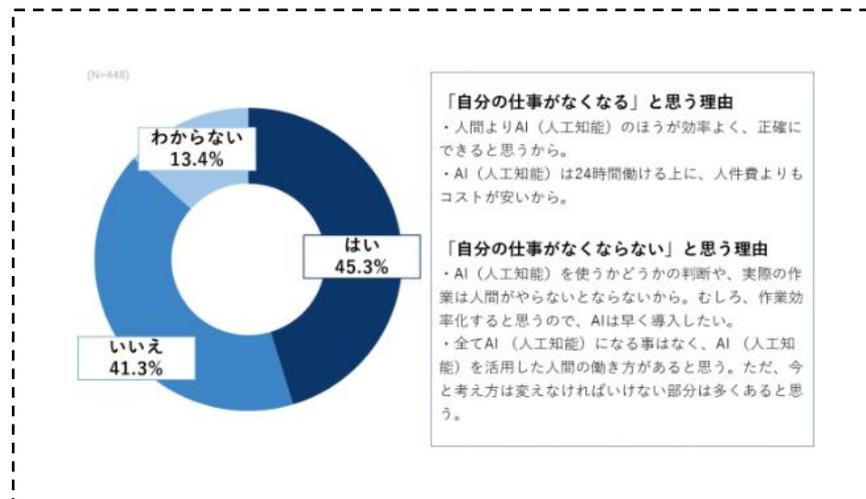
出典：株式会社ima

IT技術やAIの発展によって人の仕事が無くなっていく？

■ AIとの共存

- 人とAIの共存方法が十分に考えられないまま開発や導入が進む中、**45.3%の人が「10年後、AI（人工知能）によって自分の仕事がなくなる」と回答**（アドフレックス・コミュニケーションズ調べ）。
- AIが技術を知識として蓄えて次の世代へ受け継ぎ、**人とAIが共存**できることが理想である。
- 人はニーズに応える新しいアイデアを考え、AIは学習や分析による作業効率化でアイデアを形にする補助をすることで、**AIの発達とともに人が生み出す製品造りは発展できる**と考えられる。

■ 10年後、AIによって自分の仕事が無くなると思うか？



出典：株式会社アドフレックス・コミュニケーションズ

■ 人とAIの共存イメージ



出典：photoAC

「人は知恵、AIは知識」 お互いの良さを繁栄の礎にして未来を築く

■ 参照・引用資料

- 厚生労働省,「我が国の人口について」,2022年7月31日参照 (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21481.html)
- 経済産業省,「令和3年中小企業実態基本調査(令和2年度決算実績)速報を取りまとめました」,2022年3月30日 (<https://www.meti.go.jp/press/2021/03/20220330005/20220330005.html>)
- 株式会社東京商工リサーチ「休業業・解散企業は前年から1割減の4.4万件、廃業前決算「黒字」が大幅減【2021年】」,2022年1月18日 (https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20220118_01.html)
- 生成発展,「AIで杜氏の技継ぐ酒蔵「南部美人」の挑戦」,2019年7月5日 (<https://change.asahi.com/articles/0014/>)
- お酒のソムリエSAKESEN,「日本酒の作り方を解説 製造工程をわかりやすく説明」,2022年06月06日 (<https://www.sakesen.com/blog/how-to-make-sake/>)
- 株式会社ima,「「AI-sake」プロジェクト実証実験」,2018年02月06日 (<https://i-ma.jp/>)
- 株式会社アドフレックス・コミュニケーションズ,「マーケター500名に聞く! AI(人工知能)と仕事に関する調査」2019年6月18日 (<https://www.adflex.com/column/adflex-column/2019061847624/>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。